

令和5年度 置賜総合支庁の取組み等について



朝日連峰

令和5年6月15日(木)

山形県置賜総合支庁

令和5年度 置賜総合支庁の取組み等について

1 令和4年8月3日からの大雨に係る復旧・対策について

2 置賜地域の主要課題と対応

- ・ 置賜地域における少子化の現状等について
- ・ 若者の定着・回帰に向けた取組み等について
- ・ 置賜地域における新型コロナの状況について
- ・ 観光産業の再生に向けた取組みについて
- ・ 置賜地域の鉄道ネットワークについて
- ・ 一般国道287号米沢長井道路の整備状況について



1 令和4年8月3日からの 大雨に係る復旧・対策について

令和4年8月3日からの大雨に係る復旧・対策について【道路】

- 県管理道路の施設被害は、国道121号（米沢市入田沢）、長井飯豊線大巻橋（飯豊町小白川）など 26路線132箇所（道路流失、橋梁流失等）。総合支庁において、市町と連携（市町を支援）し、本庁、国・関係機関とも連携しながら、総力を挙げて初動・応急・復旧に対応。

A 国道121号現況



国道121号被災後の交通規制状況

- A 八谷TN北側(米沢側) B八谷TN南側(福島側)
- ・A,B 片交による通行再開 10/24 6:00~
- ・B 通行規制解除 12/17 16:00~

主要地方道長井飯豊線 (大巻橋) 現況



主要地方道長井飯豊線大巻橋被災後の交通規制状況

- ・通行規制解除 10/31 14:00~

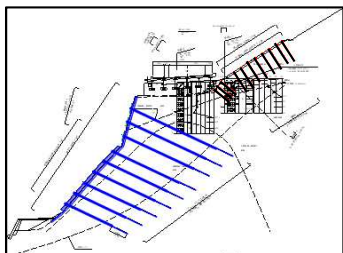
4年災第9501号



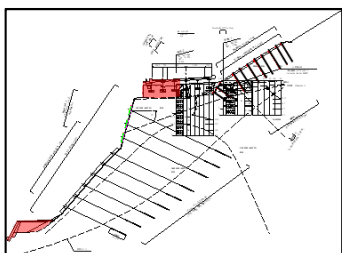
被災状況

- 令和5年度予定
- ・谷側法面工、護岸・谷側橋梁

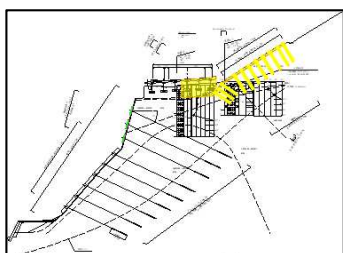
施工ステップ図



■ 谷側法面
第1工区 【R5】



■ 護岸、谷側橋梁
第2工区 【R5~R6】



■ 仮橋撤去、山側橋梁、
山側法面【R6~R7】



地質調査実施中



大巻橋被災状況

- 令和5年度予定
- ・橋梁前後区間の路線測量及び道路詳細設計
- ・地質調査、橋梁詳細設計

4年災第5525号



被災状況



同左完成

令和4年8月3日からの大雨に係る復旧・対策について【河川】

- 県管理河川の施設被害は、小白川・萩生川など41河川271箇所（護岸損壊、堤防法面崩れ等）。一般被害は、溢水：福田川など16か所、内水氾濫：犬川など13か所。氾濫危険水位超過は、置賜白川など5河川。総合支庁において、市町と連携（市町を支援）し、本庁、国・関係機関とも連携しながら、総力を挙げて初動・応急・復旧に対応。

災害復旧事業（補助）

4年災第4614号被災状況（萩生川）



同左応急本工事完成（埋塞土砂撤去）

改良復旧事業（助成）



小白川護岸（大巻橋仮復旧）完了

改良復旧事業（関連）



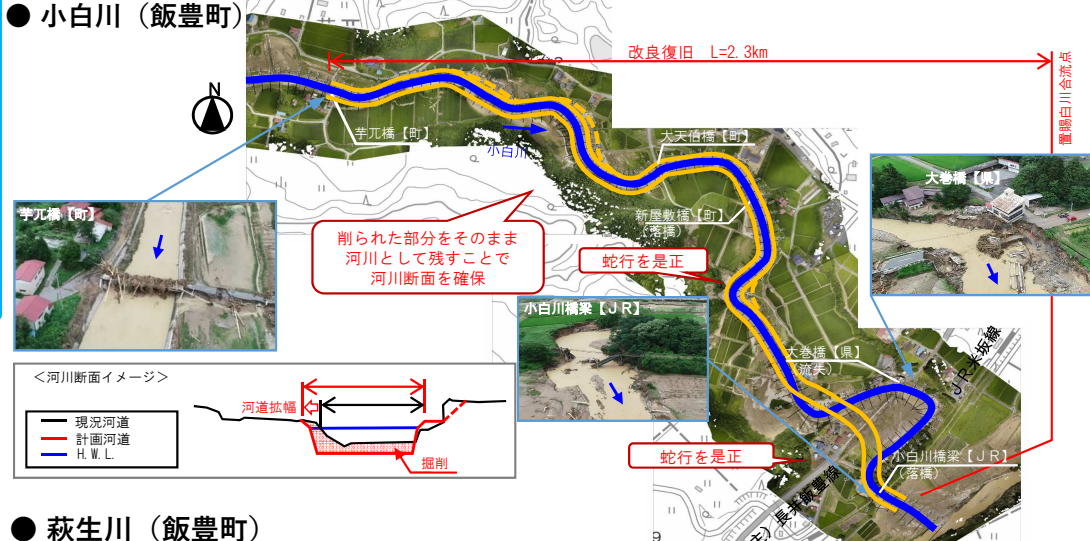
萩生川応急工事

小白川及び萩生川の復旧方針

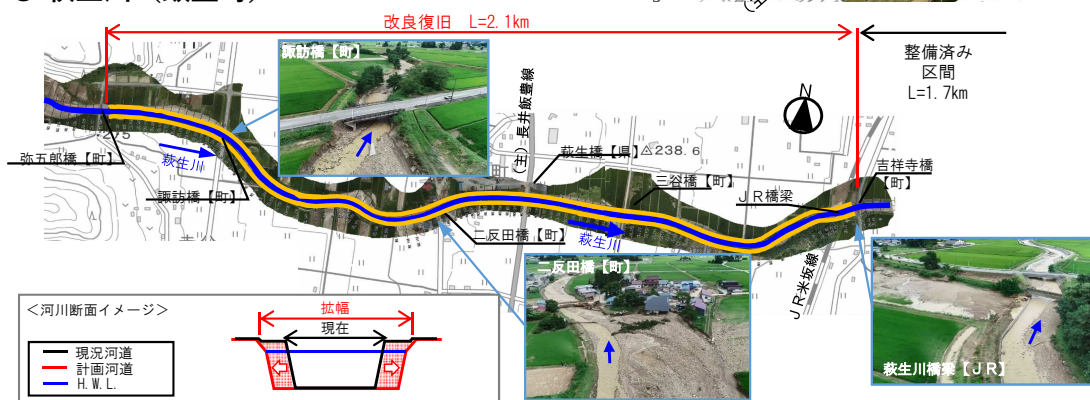
改良復旧

- 令和4年8月大雨と同規模の豪雨においても溢水被害が生じないように改良復旧を実施
- 流下能力向上のため、河道拡幅・河床掘削・蛇行の是正を実施

● 小白川（飯豊町）



● 萩生川（飯豊町）



令和5年度予定

- ・詳細設計
- ・用地調査・用地買収
- ・工事着手

R4.8月豪雨災害復旧の発注状況（令和5年5月17日現在）

工種	査定決定		発注額		発注率		完成箇所数
	箇所数	国庫額	箇所数	実施額	箇所数	工事費ベース	
	a	a'	b	b'	b/a	b'/a'	
道路	21	1,943	17	691	81.0%	35.6%	4
河川	127	4,578	68	2,551	53.5%	55.7%	2
河川(関連等)	9	3,137	1	196	11.1%	6.2%	0
計	157	9,658	86	3,438	54.8%	35.6%	20

※河川（関連等）には改良費含み、西置賜のみ（金額：百万円）

令和4年8月3日からの大雨に係る復旧・対策について【農業土木】

1 大雨による被害と復旧に向けた取組み

(1) 概要

置賜地域では、令和4年8月3日からの大雨により、各地で農地・農業用施設、森林関係に大きな被害が発生しました。農業土木系、林業系職員は、被災した市町や土地改良区の初動対応（被害状況の把握、被害額の調査報告、災害査定前着工等）の支援や、他総合支庁からの応援を受けながら災害査定に向けた査定設計書の作成等を行いました。（～令和4年12月2日）

■市町等への派遣職員数 農業農村整備 置賜総合支庁：61人、他総合支庁：492人、合計：553人
 （延べ人員） 森林整備 置賜総合支庁：180人、他総合支庁：91人、合計：271人

引続き市町等の復旧を支援するとともに、県管理農業用水利施設や復旧に高度な技術を要する施設、治山施設、林地の復旧への対応をしていきます。

(2) 復旧に向けた主な取組み

① 鏡沼ため池（川西町：受託県営）

・県は川西町からの委託を受け、決壊した鏡沼ため池（大光院堤1号）の堤体・洪水吐・放流工の改修及びその上流にある新八堤の下流水路の復旧工事を実施予定

【工事完了予定時期：令和6年度】

② 白川幹線用水路（飯豊町）

・県管理の白川幹線用水路が被災し、農地1,430haへの用水供給が不能となったため、仮設ポンプと仮設管で応急的に対応

・令和5年春からの営農に必要な水量を確保するための仮設水路の設置工事を令和5年2月に完了し、恒久施設への復旧は落水後から実施予定

【工事完了予定時期：令和5年度】

③ 高峰地区山腹崩壊地（飯豊町）

・山腹崩壊により発生した不安定土砂や倒木が斜面に大量に堆積し、今後の降雨で崩壊地の拡大が懸念されることから、土留工・緑化工等の復旧工事を実施予定

【工事完了予定時期：令和5年度】



(3) 災害復旧の進捗状況（国庫）

（農地・農業用施設）		カ所		
		箇所	着手済	完了
東南	県	-	-	-
	市町	20	6	1
西	県	2	2	-
	市町	49	30	7
置賜	県	2	2	-
	市町	69	36	8

【5月15日時点】

(森林関係)

		カ所		
		箇所	着手済	完了
東南	県	2	1	-
	市町	6	6	-
西	県	3	3	-
	市町	22	10	-
置賜	県	5	4	-
	市町	28	16	-

【5月15日時点】

2 今後の水害・防災対策

(1) 概要

- ・早期の営農・林業生産再開や森林の保全に向け、災害復旧事業や小規模農地等復旧事業を実施
- ・安全安心な農業農村環境や森林環境の整備に向けた防災、減災の取組みを実施

(2) 主な取組み

① 防災重点農業用ため池※の整備

※農業用ため池のうち、決壊により周辺の区域に被害を及ぼすおそれがあるものを県が指定したもの。

防災重点農業用ため池防災工事等推進計画(R3～R12)に基づき、劣化状況評価及び豪雨・地震耐性評価を行い、その結果を踏まえ防災工事等の必要性を判断して優先付けを行い、計画的に改修・補強を実施することとしているが、ハード対策完了までの間は、ソフト対策でフォローをしていく。

○ハード対策

- ・防災工事が必要と判断された場合のため池改修、補強
- ・ため池管理者より廃止要望のあったため池の廃止
- ・監視カメラや水位計等の機器設置を推進し、管理・監視体制を強化

○ソフト対策（全防災重点ため池対象）

- ・ハザードマップの作成支援、住民への周知・啓発の支援
- ・定期点検・経過観察(2回/年)により劣化状況及び決壊の危険性を早期に把握：5月(梅雨期前)、9月(台風前)

ため池整備事業（白鷹町御影沼）



② やまがた田んぼダム推進事業

豪雨災害の頻発化を踏まえた、流域治水対策として有効な「田んぼダム」（貯留機能）の広域的な取組みを拡大

○田んぼダムの取組み拡大・連携強化

- ・田んぼダムの取組み事例集作成
- ・地域住民等を対象としたワークショップ開催

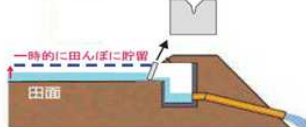
○田んぼダム貯留効果検証

- ・貯留機能効果の実証ほ場設置、現地研修会開催
- ・設置位置、排水調整板に関する技術的検討
- ・自動水位計による流量観測
- ・湛水シミュレーション解析

■事業目標 田んぼダム取組み面積 R2: 1,599ha ⇒ R8 (目標): 6,377ha R2実績の約4倍 (全県)

水田の活用（田んぼダム）

○田んぼダム（排水口への堰板の設置等による流出抑制）によって下流域の湛水被害リスクを低減。



③ 治山事業

保安林を守り育てることにより山崩れ・地すべり等の山地災害から県民の生命・財産を守り、森林が持つ水源かん養等の公益的機能を高度に発揮させる治山事業を実施

- ・市町の要望等に基づき現地調査を行い、優先順位をつけて計画的に事業を実施
- ・荒廃渓流及び林地崩壊箇所については、土砂流出防止のため治山ダム工、山腹工（土留工等）を実施
- ・荒廃森林については、森林の公益的機能を高めるための保安林整備（植栽・間伐等）を実施

治山事業の実施例



林地崩壊箇所 施工前



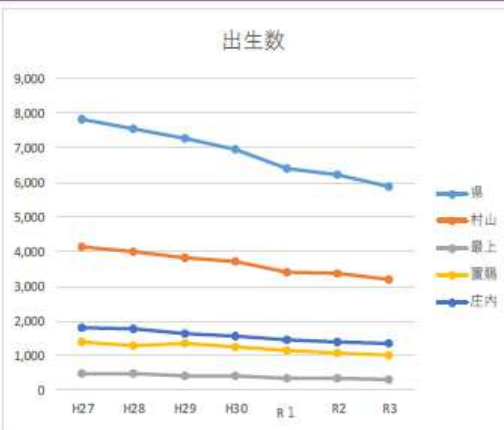
工事完成後

2 置賜地域の主要課題と対応

置賜地域における少子化の現状等について

- 県内の出生数は年々減少し、置賜地域も他地域と同様に減少しており、平成27年に比べ令和3年は73.2%の出生数となっている。置賜地域の合計特殊出生率は直近2年間で大きく減少し、4地域で最も低い水準となった。
- 少子化の要因「未婚化」「晩産化」「子育ての不安感・負担感」「若年世代の流出」に対し、各部局が連携して対策を講じていく。

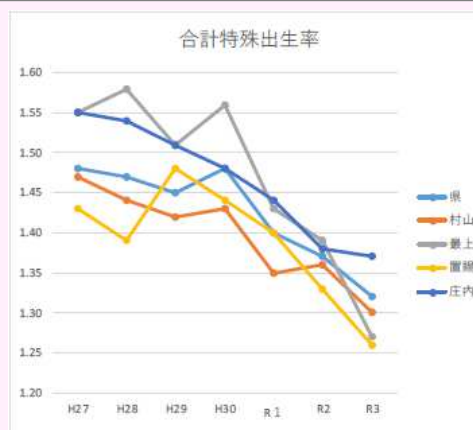
○置賜地域における少子化の現状



	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R3/H27 *100
県	7,831	7,547	7,259	6,973	6,401	6,217	5,898	75.3
村山	4,134	3,998	3,825	3,730	3,430	3,377	3,196	77.3
最上	484	477	434	422	363	353	312	64.5
置賜	1,391	1,302	1,344	1,247	1,144	1,083	1,018	73.2
庄内	1,822	1,770	1,656	1,574	1,464	1,404	1,372	75.3

【厚生労働省：人口動態統計】

	H2	H12	H22	R2
置賜地域出生数	2,498	2,256	1,693	1,083
対10年前比率(%)	-	90.3	75.0	64.0



	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
県	1.48	1.47	1.45	1.48	1.40	1.37	1.32
村山	1.47	1.44	1.42	1.43	1.35	1.36	1.30
最上	1.55	1.58	1.51	1.56	1.43	1.39	1.27
置賜	1.43	1.39	1.48	1.44	1.40	1.33	1.26
庄内	1.55	1.54	1.51	1.48	1.44	1.38	1.37

【県しあわせ子育て応援部：少子化・次世代育成支援対策関係データベース】

- 本県の令和4年出生数：5,674人（対前年比△224人、△3.8%）
- 令和4年合計特殊出生率：1.32（R3：1.32）
全国平均1.26（R3：1.30）

【厚生労働省：人口動態統計（概数）】

○少子化の要因と対策の方向性

I 未婚化・晩婚化・晩産化

山形県の50歳未婚率

	H2	R2
男性	4.11%	26.22%
女性	2.96%	13.45%

資料：総務省「国勢調査」

令和2年度は不詳補完値による

山形県の平均初婚年齢

	H2	R2
男性	28.4	31.0
女性	25.9	29.4

資料：厚生労働省「人口動態統計」

○結婚支援

- ・新マッチングシステム「Aiナビやまがた」
- ・結婚支援コンシェルジュの配置
- ・おきたま結婚支援者活動促進事業

○結婚観・家庭観の醸成

- ・ライフデザインセミナーの開催

○不妊治療の支援

- ・不妊治療費助成

II 子育ての不安感・負担感

理想子ども数と予定子ども数

	理想とする 子どもの数	持つつもりの 子どもの数
平均	2.47人	1.88人

資料：「平成29年度県政アンケート調査」

○妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

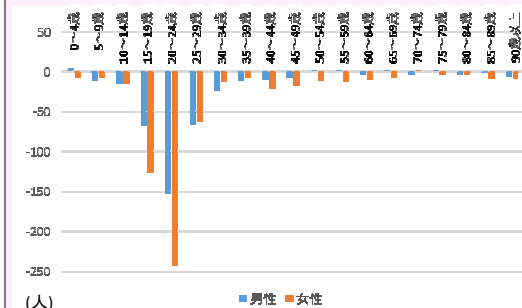
- ・多様な子育て支援サービスの充実
- ・子育てに関わる情報発信等

○子育てに係る経済的負担の軽減

- ・保育料無償化
- ・放課後児童クラブ利用料助成等

III 若年世代の流出

年齢階級別転入超過数（置賜、2020～22平均）



資料：「住民基本台帳人口移動報告（2020,2021,2022）」表11-3から作成

- ・若者の定着回帰に係る支援
- ・移住・定住

若者の定着・回帰に向けた取組み等について

現
状

- 大学生、高校生が県外に流出。特に大学生が顕著。
- 地元企業の魅力が管内学生に十分に伝わっていない。

【在学者数】(R5.5.1現在、院生含む)
・山大工 3,514名 ・栄養大、米短 697名

令和5年3月	県内就職割合
管内高校	75.9%
管内大学	17.1%
合計	37.9%

推
進
体
制

オールおきたま若者定着・人材確保推進会議

若者の県内定着・回帰を促進するため、地域の実情に応じた対策を検討

- ・ 地域の取組についての情報共有
- ・ 課題の把握や関係機関・団体の連携による体系的な取組の推進
- ・ 地元定着・回帰を促す機運の醸成

《構成団体・機関》 産業、教育、行政等 79団体

小・中学生向け

- ＜置賜地域人材確保対策事業1,224千円の一部＞
- 職業体験会(WAKU WAKU WORK)
→企業が中学校でブースを出展し模擬企業体験
- ＜長井キャリア研究会事業＞
- 長井マイスターカード
→地元社長の生の声をトレーディングカードにして、長井市内の中学生に配布



職業体験会（中学生）

高校生向け

- ＜置賜地域人材確保対策事業1,224千円の一部＞
- 企業魅力発見見学バスツアー
→実業高4校を対象にした企業見学会の開催
- ＜雇用対策協議会との共催事業＞
- 職業体験会(WAKU WAKU WORK)
→企業が高校でブースを出展し模擬企業体験を開催
- ＜置賜地域人材確保対策事業1,224千円の一部＞
- 企業のPR動画作成
→高校生が企業の魅力を伝えるPR動画を制作
- ＜学生・生徒・保護者等の地域産業理解促進事業100千円＞
- 高校生と若手経営者との交流事業
→進学校の高校生を対象とした地域や企業の魅力を伝える講演会の開催（米沢興譲館、長井）
- ＜魅力ある建設分野への若手人材啓発事業110千円＞
- 魅力ある建設分野への若手人材啓発事業
→若手技術者を確保するため、高校生を対象とした建設分野に関する現場見学会等の開催



企業魅力発見バスツアー



職業体験会（高校生）



建設分野の現場見学会



オキタマズカン

企業・U I Jターナー者向け

- ＜株式会社ナウエル事業＞
- オキタマズカン
→U I Jターナー移住者を促す転職サイトを開設
地域の仕事と暮らしの情報を多面的に配信
地域の企業とU I Jターナー希望者をマッチング

＜大学生の地元定着に向けて＞

大学生・若者向け

- ＜置賜地域人材確保対策事業1,224千円の一部＞
- 企業魅力発見バスツアー
→大学生とその保護者を対象に、地域の魅力を伝える若手社員との交流や観光資源の体験を加えた企業見学会
- ＜若者による置賜の元気創造事業582千円＞
- おきたま元気創造ラボ
→置賜8市町の若者25名が地域の魅力を見つめ直し、自ら地域の魅力を再発見しSNS等で発信
- ＜おきたま農業振興事業1,738千円の一部＞
- okirakuキッチン
→大学生（山大、米短、栄養大）が生産者などとの交流を通じて、地元農産物を使用した新メニュー作りなど、置賜の農と食文化の魅力を体験しSNS等で発信



おきたま元気創造ラボ



okirakuキッチン

企業向け

- ＜オールおきたま若者定着・人材確保推進事業45千円＞
- 若者定着セミナー
→若者の地元定着に向け、地域や企業の魅力を共有し、効果的な情報発信を考えるセミナー
- ＜新卒者等早期離職防止事業164千円の一部＞
- 職場定着セミナー（企業の経営者向け）
→若手社員の早期離職防止を考えるセミナー
- ＜新卒者等早期離職防止事業164千円の一部＞
- 職場定着セミナー（若手社員向け）
→地域の仲間（地域同期）との交流会
- ＜米沢市・米沢商工会議所事業＞
- 山大工学部と企業との懇談会
→山大工学部就職担当教授と企業経営者との懇談会



企業の魅力の伝え方セミナー



職場定着セミナー

取
組
（令和5年度）

若者の定着・回帰に向けた取組み等について

- 置賜総合支庁、管内3市5町等で構成する「置賜移住交流推進協議会」の活動を通じた移住施策の推進
- 民間・地域おこし協力隊10名と若手行政職員15名で構成する「おきたま元気創造ラボ」の取組みや、高校生と地域とのつながりを創出する探究型学習プログラムの実施等による地域の活性化

移住施策の取組み

「置賜移住交流推進協議会」等の活動をとおり、官民連携して移住施策を推進

《主な取組み》

- 置賜地域移住セミナーの開催（R5.12 東京会場・オンラインでハイブリッド開催予定）
首都圏在住で移住に興味のある方々を対象に、移住先としての置賜地域の魅力を発信

<R4年度開催チラシ>

<R4年度開催セミナーの様子（東京会場）>



- 移住に関する情報発信
置賜地域の先輩移住者の紹介、市町情報等を掲載した置賜地域版移住ガイドブックや置賜管内の市町が取組んでいる移住交流推進事業などの置賜地域の移住に関する情報について、県移住交流ポータルサイト、SNS、移住関連イベントの場といった多様な媒体や機会を通じて情報発信



「おきたま元気創造ラボ」

置賜地域の課題解決に向け、若者の視点で地域を見つめ直し、地域活性化の取組みを実施することにより、置賜地域の元気を創造

《主な取組み》

- 募集型企画の実施
置賜に関する様々な作品を広く募集し、地域の魅力を発掘・発信
- 体験型企画の開催
高校生や大学生等の若者が、置賜の自然や食、文化等を体験するとともに、地域で活躍する方と交流
- おきラボメンバーがおすすめする魅力をSNSで発信



- おきたま若者団体交流会の開催
置賜地域で活動する若者団体を対象とした交流会を対面で開催



<R4年度募集型企画チラシ>



<R4年度体験型企画の様子>



<R4年度おきたま若者団体交流会の様子>

地域企業の課題をテーマとした探究型学習プログラム【R5組替新規】

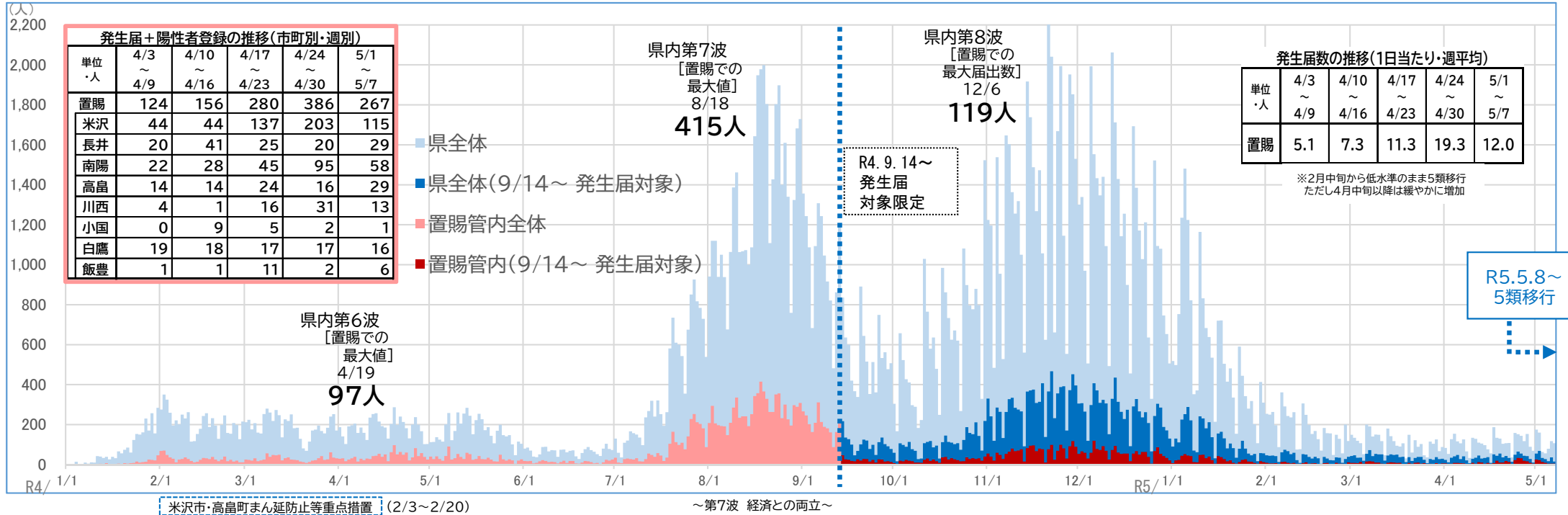
若者の地域への愛着醸成と地域の活性化に向けて、高校生と地域とのつながりを創出するとともに、地域の魅力や価値を発信していくための取組みとして、山形鉄道の経営改善をテーマにした探究型の学びの場を創出



(写真は事業イメージとする先行事例) モンテディオ山形 × 探究教室ESTEM 山形鉄道フラワー長井線
【高校生マーケティングプロジェクト】 【‘ASHI’プロジェクト】

置賜地域における新型コロナの状況について

感染確認数 ※R4.9.14以降の対象限定後、置賜管内は発生届の数のみ把握（濃い赤のグラフ）



5類移行を円滑に迎えるための取組み、移行後の感染の状況

● 関係機関との連携確認

県レベルの会議の結果を踏まえ順次、管内の対応を調整

- 5/2医療機関同士による入院調整に資するよう、救急搬送ルールや各病院の担当窓口を明確化し、医師会・病院・救急・市町に周知
- 5/2高齢者施設等での陽性者発生時の保健所による対応支援ルールを周知

● 移行後の感染の状況

- 入院患者数は移行直前並みで推移。受入経験のない病院もスムーズに受入
- 高齢者施設等からの発生報告22か所。うちクラスター相当の集団発生9か所
- クラスター相当集団発生1件（小中学校）
他にインフルエンザ集団発生5件（小中学校3、保育施設等2）
- 医療・福祉関係の対応で大きな混乱なし

5類移行後の感染確認数、入院受入体制

5類移行後の定点集計の状況

上段:報告数(人) 下段:定点当たり

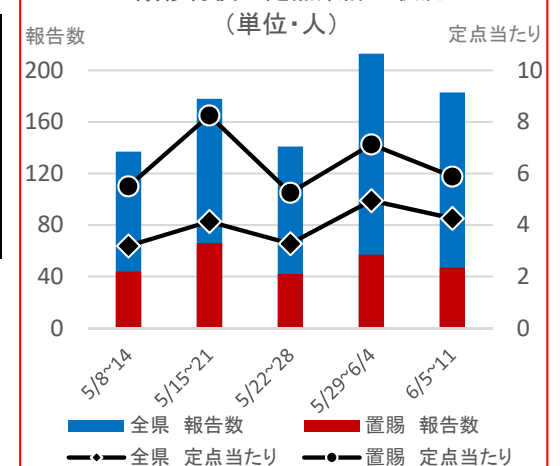
[]内 定点数	5/8 ~ 5/14	5/15 ~ 5/21	5/22 ~ 5/28	5/29 ~ 6/4	6/5 ~ 6/11
全県 [43]	137 3.19	178 4.14	141 3.28	213 4.95	183 4.26
置賜 [8]	44 5.50	66 8.25	42 5.25	57 7.13	47 5.88

5類移行前後の確保病床数の状況

= 幅広い医療機関で入院患者を受け止める体制を構築 =

	置総	米沢	その他	合計
移行前	34	17	7	58
移行後	12	6	40	58

5類移行後の定点集計の状況



観光産業の復活に向けた取組みについて

(1) データに基づく戦略的な情報発信

- デジタル媒体による観光情報発信の強化
 - ▶広域プロモーション用画像等の整備とポータルサイト内の写真データ等のアップデート
 - ▶3万3千人のフォロワー数があるツイッター等SNSを活用した適時適切な情報発信
- LINEを活用した情報発信、データ収集・分析
各人の嗜好等に対応した情報発信を行うとともに、アンケート機能による顧客データの収集等
- 「道の駅米沢」を起点とした周遊対策
「道の駅米沢」における広域観光情報発信や着地型旅行商品の造成支援



(2) 地域資源を活用した観光誘客

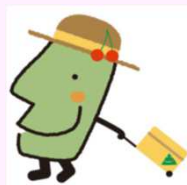
- DMO等と連携した高付加価値コンテンツの開発支援
管内DMOと連携したコンテンツを開発し、商談会等で旅行会社へのセールスを実施
- 「伊達四十八館」を活用した観光誘客
「伊達四十八館」（戦国時代に管内に築かれた城館跡）の活用した「花×伊達な城館ウォーク」の開催や関係者向けのセミナーを実施



アドベンチャーリズム(イメージ)



- 地域観光素材を活用した旅行商品の造成推進
各エリア別ワーキングチームや管内DMOと連携し、情報発信と旅行商品造成を推進



- 令和6年春JR東日本重点販売地域への対応
誘客企画の準備、情報発信、セールスプロモーション、受入環境の整備等を実施

(3) 県内他地域や隣接県との広域観光連携

- 新潟県村上地域、福島県県北地域及び宮城県仙南地域との連携
道の駅が連携した誘客企画の実施や相互の情報発信、スイーツ等を共通テーマとした合同企画の実施（福島・宮城）
- 庄内地域との連携
両地域の相互理解及び地域間交流促進のための交流会を開催
- 村山・最上地域との連携
東北中央自動車道東根～尾花沢間の開通を契機とした「東北中央道利用促進ドライブスタンプラリー」を実施

(4) 冬季における観光誘客の促進

- 「やまがた冬のあった回廊キャンペーン」
置賜地域と上山市の行政及び観光関係者等が連携して実施
 - ・オープニングイベントの開催
 - ・宿泊客等に対するプレゼント企画
 - ・重点PR地域の冬の観光コンテンツ作り
 - ・旅行会社へのセールス
 - ・SNSによる管内市町のイベント等の紹介 など



(5) 外国人観光客の受入れの促進

- DMO等と連携した高付加価値コンテンツの開発支援
インバウンド向け企画の実証のためのモニターツアーを実施
- 置賜地域インバウンド促進会議との連携
台湾セールスプロモーションとの連携
- 個人客（FIT）受入れ促進に向けたセミナーの開催
- チャーター便活用外国人ツアー客のおもてなし
再訪や情報拡散を図るため、チャーター便利用ツアー客のお出迎え等を実施



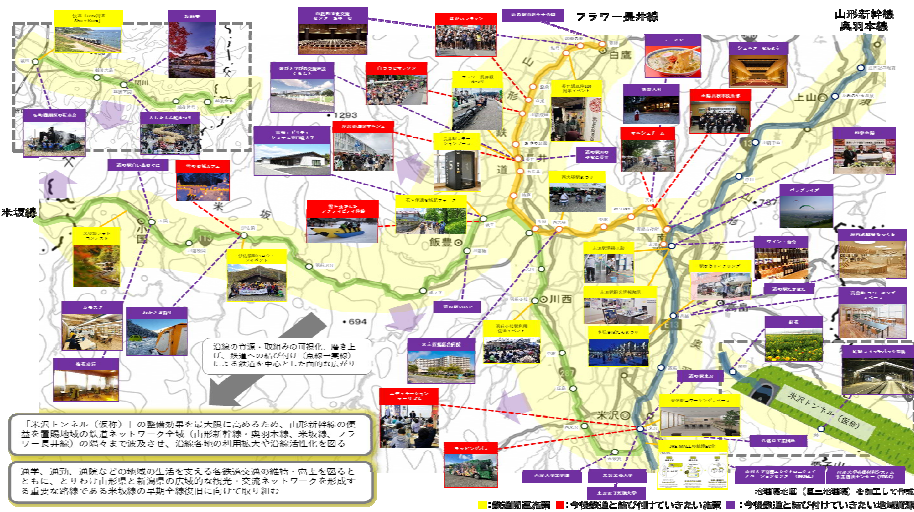
置賜地域の鉄道ネットワークについて

I 置賜地域の鉄道ネットワークの在り方

「鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会」提言

(R4.7 事務局: 国土交通省)

- 沿線市町、JRとともに情報交換会を開催し、情報の把握及び課題を共有 (R4.11.11)
- やまがた鉄道沿線活性化プロジェクト置賜ワーキングチーム会議を開催し、取組みの方向性を共有するとともに、沿線の地域資源や取組みを可視化 (R4.12.30, R5.2.17)



沿線マップ(置賜WTで作成)

置賜WTの取組の方向性に基づき事業を展開

- 「米沢トンネル(仮称)」の整備効果を最大限に高めるため、山形新幹線の便益を置賜地域の鉄道ネットワーク全域(山形新幹線・奥羽本線、米坂線、フラワー長井線)の隅々まで波及させ、沿線各地の利用拡大や沿線活性化を図る
- 通学、通勤、通院などの地域の生活を支える各鉄道交通の維持・利便性向上を図るとともに、とりわけ山形県と新潟県の広域的な観光・交流ネットワークを形成する重要な路線である米坂線の早期全線復旧に向けて取り組む

米沢トンネル(仮称)の動き: 具体的ルート検討のための共同調査を実施中 (R4.9月補正で債務負担行為の予算計上、R4.12月にボーリング調査と弾性波探査の施行について協定を締結)

II 米坂線の対応状況

①被害状況(令和5年4月25日現在)

- 手ノ子～羽前椿駅間で小白川橋梁崩落
- 橋りょう流出や盛土流出、土砂流入等の主な被害は112箇所(山形県側68箇所)



JR米坂線 小白川橋梁崩落(手ノ子駅～羽前椿駅)

②これまでの復旧状況

- 米沢駅～今泉駅間 一部運転再開(令和4年8月9日～)
- 今泉駅～坂町駅間 バスによる代行輸送開始(令和4年8月12日～)
- JR米坂線の早期全線復旧等に関して、政府・JR東日本に緊急要望

※復旧には着工から5年程度、工事費用は約86億円 (JR東日本試算: 令和5年4月25日公表)

【地域の声】

- 米坂線は、置賜地域にとって通勤・通学等の生活の足、広域的な観光・交流ネットワーク、産業振興のための社会基盤として重要な路線であり、早期全線復旧等が必要

III 長井線全線開通100周年

令和5年4月に全線開通から100周年を迎え、様々な記念事業を展開

●全線開通100周年イベント



●白つつじマラソンとのタイアップ(フラワー長井線と競争しよう)



●郵便局とのタイアップ(スタンプラリー・ポストや郵便車両への記念ロゴマーク貼付)



●沿線企業と連携したクーポン付き乗車券



一般国道287号米沢長井道路の整備状況について

一般国道287号米沢長井道路

《令和4年度末進捗率》

- ・米沢北BP L=3.4km: 99%、用地取得完了
- ・米沢川西BP L=4.0km: 37%、用地取得98%
- ・川西BP L=5.7km: 71%、用地取得完了
- ・長井南BP L=6.3km: 平成27年度末供用済み

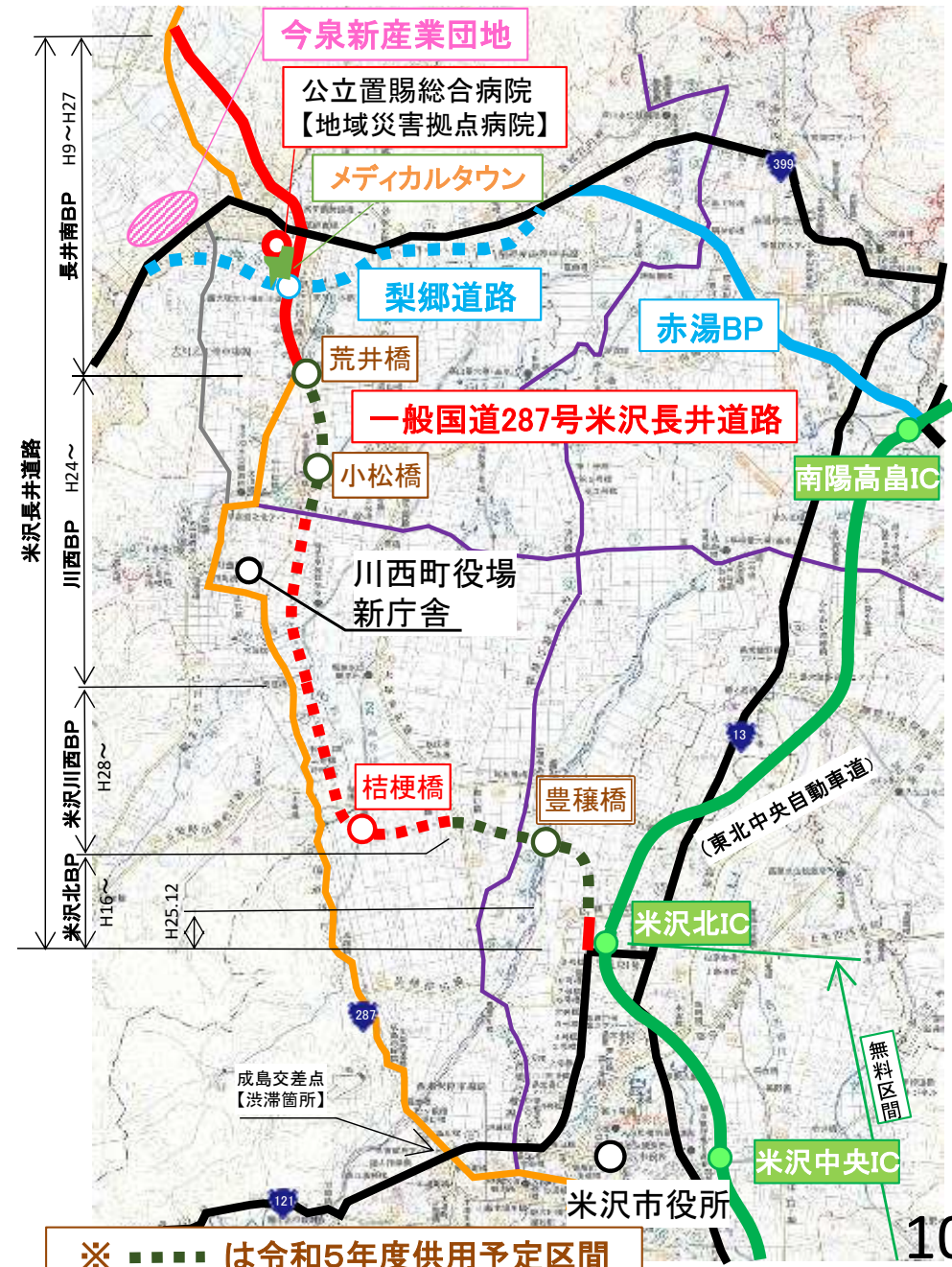
《令和5年度の取組》

- ・梨郷道路の令和5年度供用開始に合わせた事業進捗管理
(米沢北BP 豊穰橋、川西BP 小松橋、荒井橋)



豊穰橋 橋長L=275m(R5.3撮影)

計画平面図



※ は令和5年度供用予定区間